

<突然の帰国>

編入の準備は、帰国予定時期が事前にわかっていってもバタバタしますが、ご家庭やご勤務先の事情で急に帰国が決まった場合は、さらに混乱するものです。前にも述べたように、公立の小中学校であれば義務教育の一環なのでいつでも編入を受入れてもらえます。しかし、私立や国立の小、中学校、もしくは高校に編入を希望する場合、帰国準備をする時間も不十分な中、その時期編入を受入れてくれる学校を探すというのは大変なことです。限られた時間の中で、お子様に最適な学校を選び、準備をしなければなりません。

米国滞在中ずっと全日制の学校に通っていたり、日本語での授業も全く問題ないというお子様の場合は、比較的帰国後も学校生活に溶け込みやすいので、公立校へ編入することに対する抵抗も少ないかと思えます。逆に、長い間米国の教育システムの中で学習し、日本語はご家庭での日常会話程度というお子様の場合は、急に帰国が決まり、学校検索や編入準備の時間がないからという理由のみで公立校に編入してしまうと、帰国後お子様が苦勞することになります。ほとんどの公立校では帰国生に対する配慮が全くない為、授業が全く理解できない、お友達ができない、最悪の場合はいじめにあうというケースもあります。

< Premier Edu サポートセンター >

渡米したばかりの頃は、お子様が米国の学校に馴染めるか、英語が理解できるようになるかと心配ですが、帰国する際にも保護者ご自身が経験したことのない状況に困惑すること多いでしょう。保護者の方には母国であっても、お子様にとって日本は外国になっている場合もあります。また、日本の学校へ編入することは、渡米時と同じように不安であり、米国での生活に慣れた分、帰国後に逆カルチャーショックを受けることも多いでしょう。米国では「日本人だから」とわからなくても許されるとありますが、日本では「日本人なのに」と厳しい目で見られることもあります。そのため、渡米時より帰国後のほうがお子様にかかる精神的負担が重くなる場合もあるのです。

お子様がうまく日本に適応できなければ、米国に戻りたいと思うようになり、その後も日本生活を楽しむことは難しいでしょう。そのため、変化し続ける日米の教育システムを理解した上で、お子様にあった学校を選び、少しでも早くお子様が日本に適応できるよう保護者の方は最善をつくさなければなりません。その選択が帰国後の学校生活だけでなく、卒業後の就職にも影響する可能性があります。保護者の方ご自身も経験のない編入については、ご不明な点も多いかと思えます。そんな時は、お気軽に Premier Edu サポートセンターへご連絡ください。

Premier Edu

www.premier-edu.com

Premier Edu サポートセンター
1-888-675-5376
 (西部時間 8:00~17:00)
<http://www.premier-edu.com>

会社名	Prestige International USA, Inc.
概要	Prestige International USA Inc. は、株式会社プレステージインターナショナル（本社：東京千代田区）の100% 子会社です。 世界13ヶ国16拠点のグループネットワークを活かし、米国在住の日本人向け各種アシスタントサービスを提供しております。
事業内容	米国金融会社等と提携し、在米日本人向けに開発した付加価値サービスを提供。 ・マルチリンガル・コールセンタービジネス ・海外旅行者保険現地請求処理・日本語サービス業務 ・駐在員向け健康保険プログラム ・米国内での日本語ロードアシスタンスサービスの提供



「教育トラブルを、電話で助けます」という、このサポート・サービス。最近、会員が増えていると聞きました。うれしいことです。

今回紹介の「帰国準備」のための教育情報は、帰国する保護者・お子さんにとって、学校を選ぶ上でどうしても必要なものです。

希望の学校が「編入試験を実施するか？」との質問は、直接学校に問合せるしかありません。しかし、帰国の可能性が出てきた時から、帰国児童生徒の地域の受入れ状況や受入校の現状などの基本的・全体的な情報を集め始めることが大切です。

その情報収集の第一歩に、このサービスのホームページを利用されることをお勧めします。そこから具体的な学校選びが始まります。